

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (13 13)

団体名	(特非)西脇てとて広場	代表者 名	(職名) 理事長	(氏名) 市位 辰三
事業名	生きづらさを抱えた子どもの学習サポート事業			

< 事業実施実績 >

年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等で記入</small>	場所	参加者 <small>一般 (スタッフ)</small>	活動内容 <small>(勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記</small>
毎週水曜日	てとて広場	217名 (146)	宿題や提出物(中学生のワークなど)のサポート
夏休み中の毎週火・木曜日	ドウジウム・西脇市社協	77名 (22)	夏休みの宿題およびわからないところのサポート

< 効果と成果 >

今年度の学習サポートは、もともとグレーゾーンと言われてきた子どもたちが中学生になり、学習がむずかしくなっただけでいけず、苦しんでいる、中学1年生が多かったが、マンツーマン指導ができて学習が進んだ。

1学期に市内の小中学校をを訪問し、法人に事業概要を伝えた際、外国人の子どもたちを学校から紹介された。

外国人の子どもたちは、日本語がむずかしいので、学習に戸惑いが感じられたので、配慮しつつ進めた。

また、特別支援学校や学校の子どもも参加し、学習がインクルーシブな楽しい場となった。

45分 - 15分休憩 - 45分というサイクルでやっており、休憩時間には楽しく遊んで、息抜きもできた。

夏休みは、指導者を増員して行った。当初全く理解ができていなかった子どもも熱心に取り組んで、宿題が進んだ。

これまでではてとて広場を行っていたが、集中が切れやすいため、別の場所を借りて、行った。

学校に行きづらい子どもたちと普段学校に行っている子どもたちが融合する場にもなった。

< 今後の展望 >

マンツーマンでの指導が必要となり、指導者がどんどん増えたことで、このままでは事業が継続できない状況になった。

来年度からは、利用料の徴収を予定しており、学校に行きづらい子ども、学校は行っているが学習のサポートが必要な子ども(ひとり親家庭等経済的支援が必要な家庭)とを分けて、市が発行している

塾支援クーポンを活用するよう手続きをしている。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	4 5 0 , 0 0 0
自己資金等	1 2 , 7 5 1
合 計	4 6 2 , 7 5 1

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	家賃	4 4 , 8 8 0	4 4 , 0 0 0
	謝金	3 3 0 , 0 0 0	3 3 0 , 0 0 0
	新聞図書費	1 2 , 0 7 1	1 2 , 0 0 0
	その他 (印刷費等)	7 , 6 8 0	7 , 0 0 0
	小 計	3 9 4 , 6 3 1	3 9 3 , 0 0 0
	間接経費 (一般管理費)	6 8 , 1 2 0	5 7 , 0 0 0
	合 計	4 6 2 , 7 5 1	4 5 0 , 0 0 0